

学校番号	406
------	-----

## 令和３年度 芸術〔音楽〕

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	「音楽Ⅰ Tutti 改訂版」(教出)						
副教材等	なし						

### 1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

- ・「歌唱」「楽器演奏」「音楽鑑賞」の分野で学習します。
- ・学習の到達度は、授業で配付するプリントや実技テストで評価します。
- ・実際に声を出し、楽器を演奏することを経験し、感性を豊かにしていきましょう。
- ・音楽の様々な活動を通じて、音楽に親しみ音楽を愛する精神をはぐくみましょう。音楽に対する感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深めましょう

### 2 学習の到達目標

クラス生徒の前での演奏を通じ、自己表現する力をつける。  
実技テストをクラスの中で行い、羞恥心に打ち勝つ強い意志を育てる。課題に選択肢をもうけ、興味関心に応じて選べるように配慮する。外国語の歌曲を暗譜させることにより、課題達成の喜びを体感させる。

### 3 学習評価(評価規準と評価方法)

観 点	a:音楽への関心・意 欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評 価 方 法	観察 ワークシート	観察 ワークシート 実技テスト	演奏の聴取 提出作品 実技テスト	観察 ワークシート

以上の観点から学期ごとに100点法で成績をつけ、学年末に5段階の評定にまとめます。  
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

## 4 学習の活動

学 期	題 材 名	学 習 内 容	主な評価の観点				題材の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1 学 期	豊かな声で歌いあげよ イメージをもって	【歌唱】 発声 校歌 英 語、ドイツ 語 楽 曲 の 歌 唱	○	○	○		a 口を開けているか。正しいリズム、歌詞で歌えるか。 校歌、1 番が暗譜できているか b 発声法、呼吸法が身に付いているか。 c 基礎的な事柄が理解できているか。 楽譜の指示を表現に結びつけながら歌えるか	観察 歌唱の聴取
		【器楽】 アルトリコーダーの基礎	○		○		a 運指、タンギングが徹底できるか。 c 基礎的な事柄が理解できているか。	観察 演奏の聴取
	リコーダーに親しもう	【器楽】 アルトリコーダーの独奏		○			b 中音域を正しい運指で演奏さできるか。	観察 実技テスト 演奏の聴取
2 学 期	演奏技術	【器楽】 アルトリコーダーの二重奏	○	○	○		abc 高音域のサミングが正しくできているか。	観察 実技テスト 演奏の聴取
	歌唱技術	【歌唱】 外 国 語 曲 の 歌唱	○	○	○		a 原語で暗譜できるか。 bc 正しいリズム、歌詞で歌えるか。	観察 歌唱の聴取
		【器楽】 アルトリコーダーの独奏	○				a テンポの速い曲と低音域の曲を正しく演奏できるか。	観察 実技テスト
3 学 期	ハーモニーを味わおう	【歌唱】 ボーカルアンサンブル（二重唱）	○	○	○	○	a 奏法の基礎が理解できているか b ハーモニーを感じ取れているか。 c ことばの発音、イメージを大事に歌わせる。 d 声のハーモニーを体験させる。	観察 演奏の聴取 実技テスト
	器楽	【器楽】	○	○			a 奏法の基礎が理解できているか。 b リコーダーの基礎を定着させ2年につなげることができるか	チェック法

※ 表中の観点について a:音楽への関心・意欲・態度      b:音楽表現の創意工夫

c:音楽表現の技能

d:鑑賞の能力